

Q1：「確かな学力の向上」のために行う授業改善のポイントはどのようなものか。

A： 「全国学力・学習状況調査」及び「とちぎっ子学習状況調査」の結果から明らかになった課題を踏まえ、県教委では、授業改善のポイントについて『とちぎの子どもの「確かな学力」向上のために～授業改善に向けた3つの視点』のリーフレットを作成した。そこで示された視点は以下の3つである。

- ・視点1 授業の目標（ねらい・めあて）を子どもたちに示すこと
- ・視点2 授業を振り返る活動を行うこと
- ・視点3 どの子にも自分の考えを書く習慣を付けさせること

授業を構想する際には、この3つの視点について意識し、どのように具現化するかを、学習指導案等にも明記していきたいところである。「芳賀の教育」の参考資料「学習指導案例」にも、関連する留意点について吹き出し等で示されているので参照してほしい。それらを基に、この3つの視点に沿いながら、授業改善に生かす具体例のいくつかを以下に示す。

視点1 授業の目標（めあて・ねらい）を子どもたちに示すこと

単元や本時における「ねらい」は、子どもにとっては「めあて」や「学習課題」等として提示される。それを学習の主体である子どもと共有できていることが大切である。

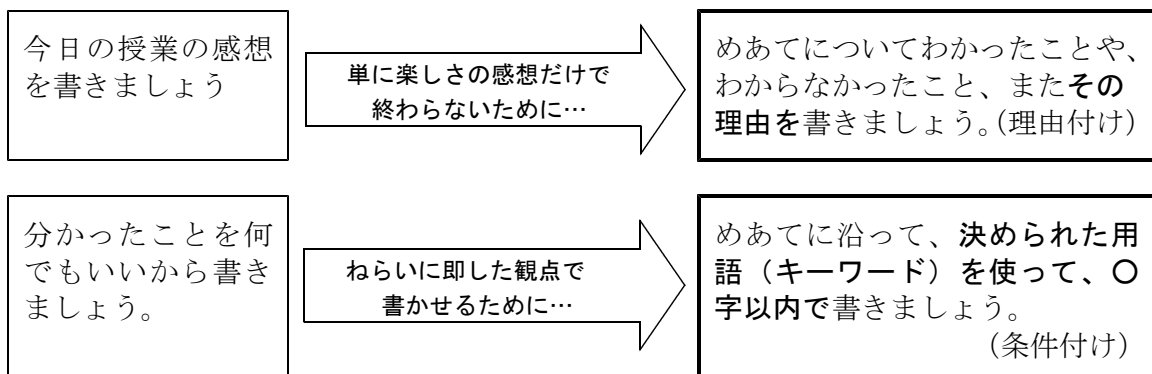
- 「めあて」や、その達成に向けた単元あるいは本時の見通し、学習計画等については、子どもとのやりとりを大切に、子ども自身が自覚できるように設定している。
- 「めあて」は、子ども自身が自己評価したり、友達と相互評価したりできるような、具体的な言葉で板書や掲示物等で示している。
- 「めあて」に示された内容は、実生活との関連が意識され、子どもが「解決したい」と思う魅力的なものになるよう、表現の仕方や示すタイミングなどを工夫している。

視点2 授業を振り返る活動を行うこと

全国学力・学習状況調査の質問紙調査からは、「振り返り活動」（※子どもによる自己評価の場合）に対する教師と子どもの捉えには差があり、子どもは学びを評価しているという意識が低いことが分かった。「振り返り活動」を確実に位置付け、子どもに本時の頑張りや成果、学びの積み重ねを実感させることで、次時の学習意欲へとつなげていくことが大切である。

- 授業の最後には、本日の学習を振り返る時間を確実に位置付けている。
- 計画的な板書によって、めあて、展開、振り返りまでの一連の学習の流れを、子どもが確認でき、ノートに整理できるものになっている。
- この授業で、「どのようなことが分かったのか」「何ができるようになったのか」など、1単位時間に学習した内容や成果を、子どもが具体的な言葉や文章で表出している。
- この時間に「何を振り返るのか」と、ねらいに対する振り返りを明確に指示している。
- 振り返り活動は、記号や感想ばかりではなく、めあてに対する達成度を文章で記述させることを取り入れている。

例



視点3 どの子にも自分の考えを書く習慣を付けさせること

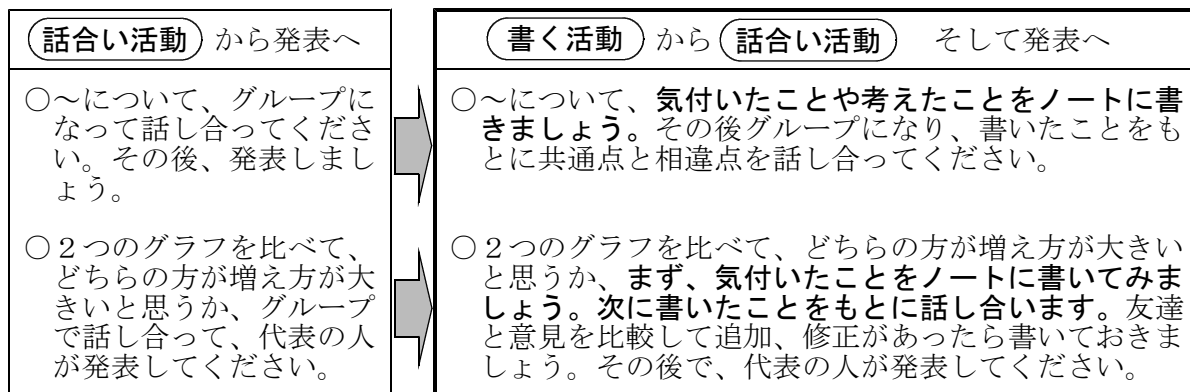
思考力・判断力・表現力等の育成のためには、言語活動を充実させることが求められる。

言語活動とは、主に記録、要約、説明、論述等の実生活に必要とされる力であり、特にこれらを「書く活動」と関連付けることによって、考えを自分なりの言葉でまとめる力を育てることが大切である。

【「書く活動」と「話し合い活動」を関連付けている例】

□発問した後に、いきなり「では話し合しましょう」ではなく、まずそのことについて個人の気付きや考えをもたせたり、書かせたりしてから、それをもとに話し合いをさせている。

例：「話し合い活動」に「書く活動」を関連付けてから発表する場合



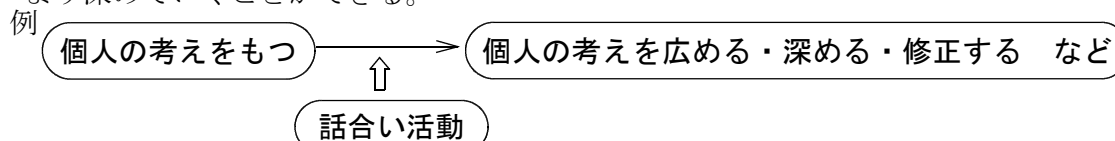
ここで確認！

話し合い活動の留意点

①ペアやグループでの話し合いは、話し合う目的をはっきりと子どもたちが理解していることが大切である。

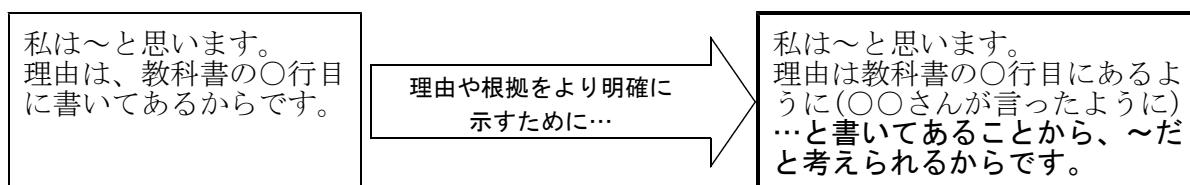
例：多様な意見を広く出し合うために（拡散）
 みんなの考えを一つにまとめていくために（収束）
 他の意見を比べて、より深く考えるために（比較）

②話し合い活動をするときには、まず個人の考えをもたせてから話し合い活動に入る。また話し合った後は再び個人に戻し、自分の考えの変容を見つめる時間を確保することでより深めていくことができる。



□個人の考えをもたせるときには、その理由や根拠を明確にして話したり、書いたりするようにさせている。その際には、発達の段階に応じて、相手に分かりやすいように、何を根拠にして、そのことでどう考えられるから、といった、筋道を立てた説明をするよう促している。

高学年の例：



【参考資料】

『保存版 とちぎの子どもの「確かな学力」向上のために～授業改善に向けた3つの視点』 H27・11県教委
 『保存版 とちぎの子どもの「確かな学力」向上のために～言語活動の充実を図る3つの提案』 H28・12県教委